

# Privia PX-110

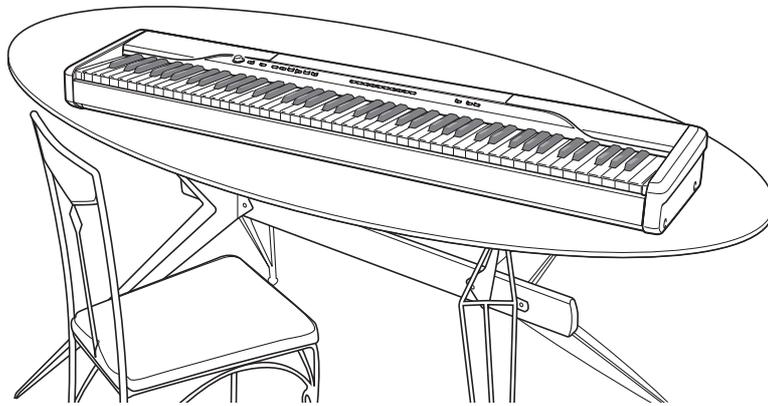
J

## 取扱説明書（保証書別添）

この取扱説明書は、お読みになったあとも、保証書とともに、大切に保管してください。

「安全上のご注意」

ご使用前に、添付別紙「安全上のご注意」をお読みの上、正しくお使いください。



### 目次

#### 各部の名称 ..... 2

譜面立ての立て方 .....	2
FUNCTIONボタンについて .....	4
数値入力鍵盤や+/-鍵盤について .....	4
デモ演奏を聴いてみる .....	4

#### 電源について ..... 5

ACアダプターの使い方 .....	5
-------------------	---

#### 接続について ..... 6

ヘッドホンを接続するには .....	6
ペダル端子に接続するには .....	6

#### いろいろな音色を聴いてみましょう ..... 7

音色を選んで弾いてみる .....	7
音色の明るさを調節するには(プリリアンス) ...	7
2つの音色を重ねてみる(レイヤー) .....	7
2つの音色を左右に分けてみる(スプリット) ...	8
音色に効果をかけてみる(エフェクト) .....	8
ペダルを使ってみる .....	9
メトロノームを鳴らしてみる .....	10

#### リズムを鳴らしてみましょう ..... 11

リズムを鳴らしてみる .....	11
自動伴奏を使ってみる .....	12

#### 内蔵曲を練習してみましょう (ミュージックライブラリー) ..... 15

曲を鳴らしてみる .....	15
練習してみる .....	15

#### 演奏を録音/再生してみましょう (ソングメモリー) ..... 16

演奏を録音してみる .....	17
録音した演奏を再生してみる .....	18
録音した内容を消去するには .....	18

#### その他の設定 ..... 19

伴奏や内蔵曲の音量を調節するには .....	19
鍵盤のタッチを変更してみる .....	19
鍵盤の調を変更してみる(トランスポーズ) ...	19
他の楽器と音程を合わせてみる(チューニング) ...	20
本機で設定した内容を保つには .....	20
MIDI機能を使ってみる .....	20

#### 資料 ..... 22

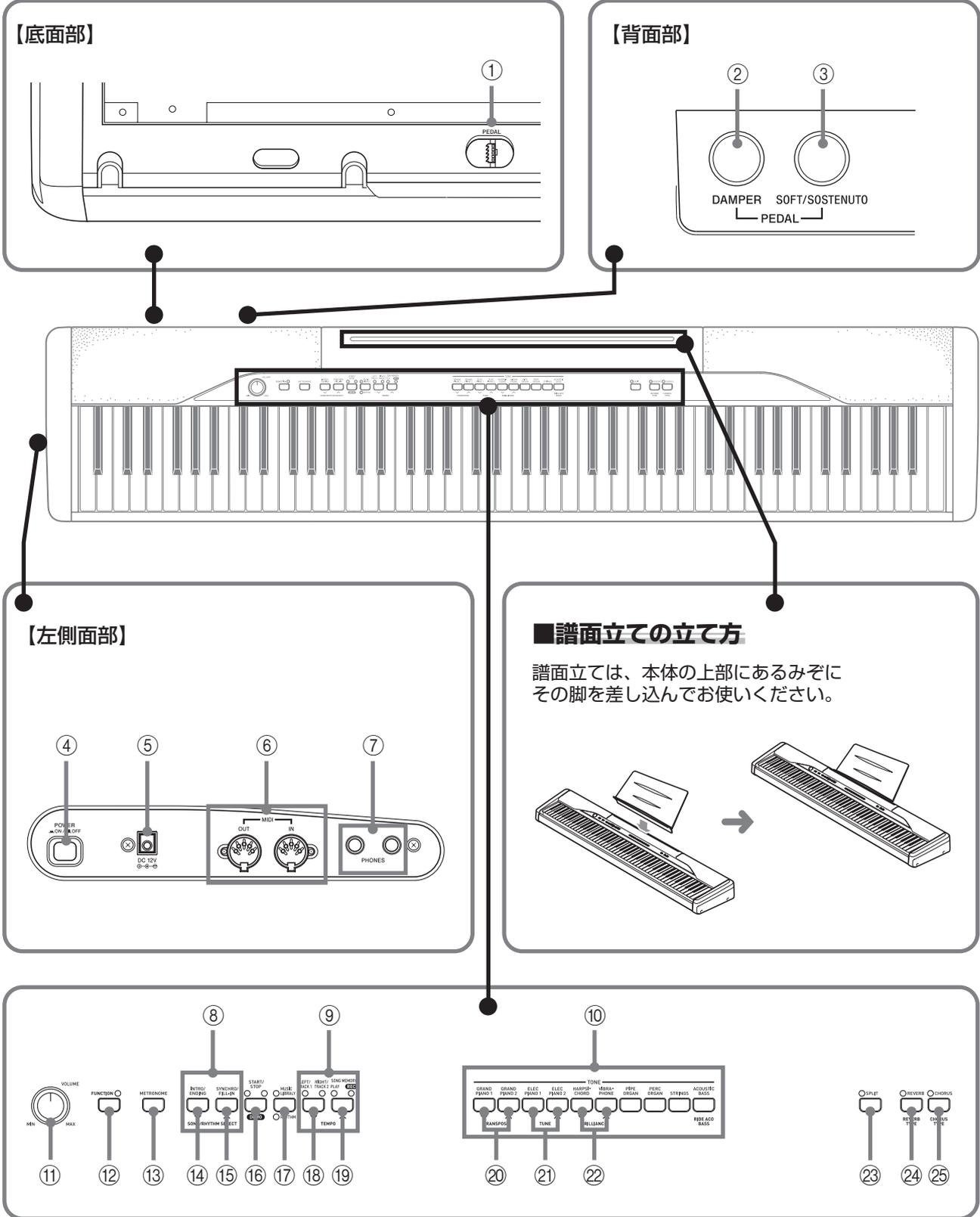
困ったときは .....	22
製品仕様 .....	23
トーンリスト .....	24
リズムリスト .....	24
ソングリスト .....	24
設定に使用する鍵盤一覧 .....	25
フィンガードコード一覧表 .....	26
ご使用上の注意 .....	27
保証・アフターサービスについて .....	27

#### MIDI インプリメンテーションチャート

#### ■付属品

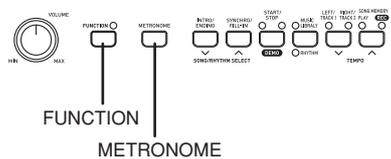
ACアダプター(AD-12JL)、ペダル(SP-3) 1本、譜面立て、取扱説明書(本書)、保証書、楽譜集

# 各部の名称



**NOTE**

- 本書では、各章の最初のページの下部に、本体コンソールのイラストを記載しています。操作で使うボタンなどの位置を確認できます。



- ① ペダルコネクタ 6,9  
ダンパー ペダル
- ② **DAMPER PEDAL** 端子 6
- ③ **SOFT/SOSTENUTO PEDAL** 端子 6,9,10  
ソフト/ソステヌート ペダル
- ④ **POWER** ボタン 7  
パワー
- ⑤ 電源端子 (DC 12V) 5
- ⑥ **MIDI OUT/IN** 端子 20  
ミディ アウト/イン
- ⑦ **PHONES** 端子 6  
ホン
- ⑧ **SONG/RHYTHM SELECT** ボタン 11,15  
ソング/リズム セレクト
- ⑨ **TEMPO** ボタン 10,11  
テンポ
- ⑩ **TONE** ボタン 7,8  
トーン
- ⑪ **VOLUME** つまみ 6,7  
ボリューム
- ⑫ **FUNCTION** ボタン 4,7,8,9,10,11,15,19~21  
ファンクション
- ⑬ **METRONOME** ボタン 10,18  
メトロノーム
- ⑭ **INTRO/ENDING** ボタン 12,17  
イントロ/エンディング
- ⑮ **SYNCHRO/FILL-IN** ボタン 12,17  
シンクロ/フィルイン
- ⑯ **START/STOP, DEMO** ボタン 4,11,15,17,18  
スタート/ストップ デモ
- ⑰ **MUSIC LIBRARY, RHYTHM** ボタン 11,15  
ミュージックライブラリー リズム
- ⑱ **LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタン 15,17,18  
左手/トラック 右手/トラック
- ⑲ **SONG MEMORY** ボタン 16~18  
ソング メモリー
- ⑳ **TRANSPOSE** ボタン 19  
トランスポーズ
- ㉑ **TUNE** ボタン 20  
チューン
- ㉒ **BRILLIANCE** ボタン 7  
ブリリアンス
- ㉓ **SPLIT** ボタン 8  
スプリット
- ㉔ **REVERB, REVERB TYPE** ボタン 8,9  
リバーブ リバーブ タイプ
- ㉕ **CHORUS, CHORUS TYPE** ボタン 8,9  
コーラス コーラス タイプ

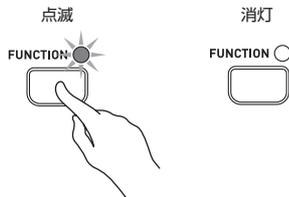
## NOTE

- マーク右の数字は、参照ページです。
- 各部の名称は、本書の説明文中で太字で記載されます。

## FUNCTION ボタンについて

本機では、**FUNCTION**ボタンを使って様々な設定を行います。操作の流れとポイントを、ここでつかんでおきましょう。

- **FUNCTION** ボタンは、押している間、ボタン上のランプが点滅し、離すと消灯します。



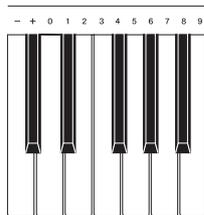
- **FUNCTION** ボタンは、これを押しながら、他のボタンや鍵盤を押す、という使い方をします。
  - 設定直後は少しの間、ボタン上のランプが速めに点滅し、設定が完了したことを知らせます。

(例) 7 ページの「音色の明るさを調節するには (ブリリアンス)」

- **FUNCTION** ボタンと鍵盤で行う操作を巻末にまとめてあります (25 ページ「設定に使用する鍵盤一覧」参照)。

## 数値入力鍵盤や + / - 鍵盤について

- **FUNCTION** ボタンを押しながら、何か設定を行った直後の一瞬は、数値入力鍵盤と + / - 鍵盤を使って、直前の設定値を変更できます。
- この時、鍵盤がスイッチとして働いているため、鍵盤を押しても音は鳴りません。



(例) 11 ページの「テンポを調節するには」

## デモ演奏を聴いてみる

本機に内蔵の 60 曲を連続して聴くことができます。

- 1 **FUNCTION** ボタンを押しながら、**DEMO** ボタンを押します。

- デモ演奏が始まります。
- デモ演奏にあわせて、メロディー音色で鍵盤演奏できます。

- 2 デモ演奏を止めるには、**DEMO** ボタンを押します。

# 電源について

本機は、電源として家庭用電源を使用します。  
ご使用後は、必ず電源を切ってください。

## <保管時>

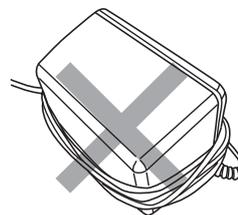
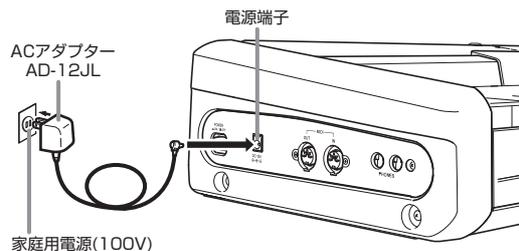
- コードは図のようにACアダプター本体に巻き付けず、束ねてまとめる

## ACアダプターの使い方

本機指定のACアダプターを接続してください。

本機指定 AC アダプターの型式：AD-12JL

【左側面部】



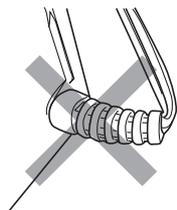
## 重要

- ACアダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- ACアダプターは長時間ご使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。

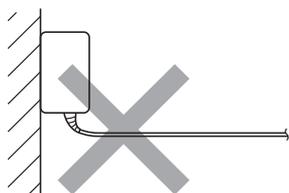
コード部の断線防止のため、次の点にご注意ください。

## <使用時>

- コードを強く引っ張らない
- コードを繰り返し引っ張らない
- コードの根元部分を折り曲げない



- コードをピンと張った状態で使用しない



## <移動時>

- 本体を移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから外す

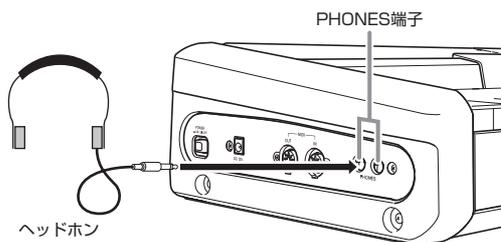
# 接続について

## 重要

- 接続の際は、本機の **VOLUME** つまみを（接続する機器側にも音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量に調節してください。
- 接続に際しては、接続機器の取扱説明書も合わせてお読みください。

## ヘッドホンを接続するには

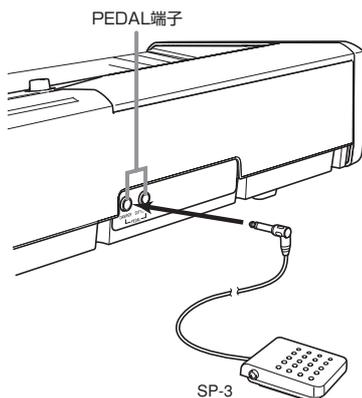
### 【左側面部】



ヘッドホンを**PHONES**端子に接続します。本機のスピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏が楽しめます。なお、耳の保護のために音量を上げすぎないようにご注意ください。

## ペダル端子に接続するには

### 【背面部】

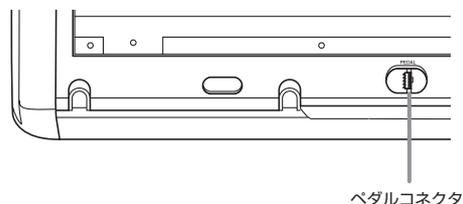


ペダル（SP-3）を目的に応じて、**PEDAL** 端子の **DAMPER** または **SOFT/SOSTENUTO** に接続します。両方の端子を同時に使用したい場合は、別売品のペダルをご利用ください。ペダルの使い方とそれぞれの設定方法については、「ペダルを使ってみる」（9ページ）をご参照ください。

## ペダルコネクタについて

ペダルコネクタには、別売のペダルユニット（SP-30）をご利用ください。よりグランドピアノに近い、表現力豊かなペダル演奏が楽しめます。

### 【底面部】



## 付属品・別売品について

付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標および商標です。

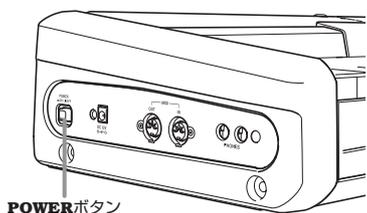


# いろいろな音色を聴いてみましょう

## 音色を選んで弾いてみる

本機には、11種類の音色があります。

**1 POWER** ボタンを押します。



**2 VOLUME** つまみで音量を調整します。

**3** 選みたい音色の **TONE** ボタンを押します。  
 ・選んだ **TONE** ボタンのランプが点灯します。

**4** 鍵盤を弾いてみましょう。

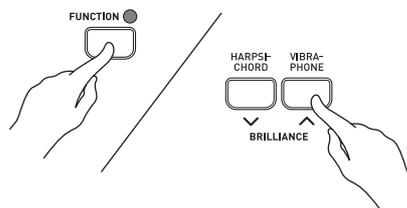
### NOTE

- RIDE ACO BASSを選ぶには、**FUNCTION** ボタンを押しながら **ACOUSTIC BASS** ボタンを押します。
- 音色を選び直すと、その音色のDSP\*設定に自動的に切り替わるため、そのとき鳴っている音が一時的に途切れます。その後、新しく選んだ音色に設定されているDSP\*に変更されます。  
 (\* 9ページ参照)

## 音色の明るさを調節するには (ブリリアンス)

ブリリアンスボタンを使うと、音色の「明るさ」を調節できます。

**1 FUNCTION** ボタンを押しながら、**BRILLIANCE** ボタンの[✓]または[^]を押してブリリアンスを調節します。



[✓]: まろやかな柔らかい感じの音になる  
 [^]: 明るく硬い感じの音になる

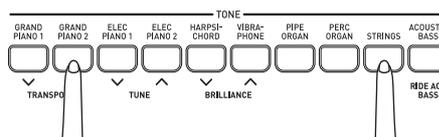
• **FUNCTION** ボタンを押したまま、2つの **BRILLIANCE** ボタンを一緒に押すと、初期の設定になります。

## 2つの音色を重ねてみる (レイヤー)

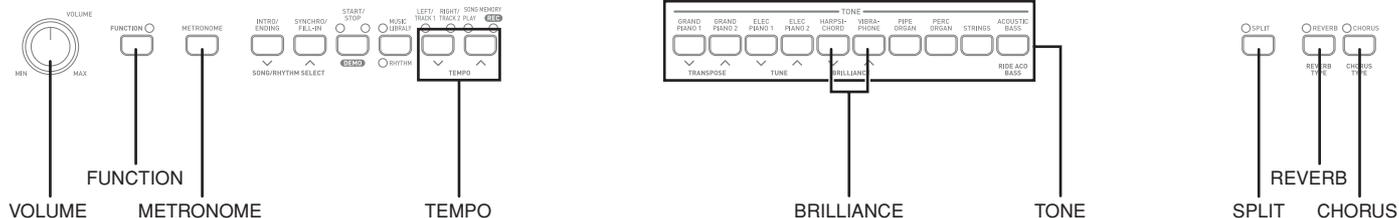
本機では、2種類の音色を重ねて演奏できます。TONEボタン中、左側に位置する音色がメインの音色、右側に位置する音色がレイヤー音色として設定されます。

**1** 重ねたい音色の **TONE** ボタンを2つ一緒に押します。

例: **GRAND PIANO2** ボタンと **STRINGS** ボタンを一緒に押す。

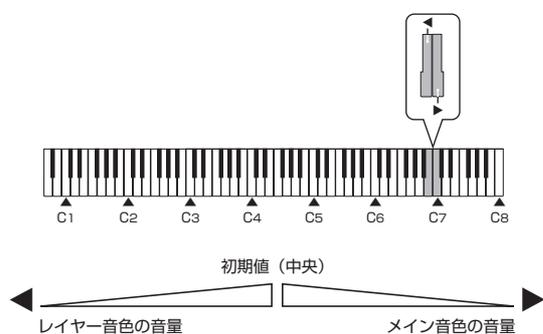


**2** もとの1音色の状態に戻すには、**TONE** ボタンのどれかひとつを押します。



## 重ねている2種類の音色の音量バランスを調整するには

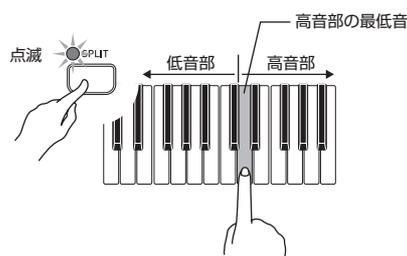
- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、以下の鍵盤を押します。



- **FUNCTION** ボタンを押したまま、上記2つの鍵盤を一緒に押すと、初期の設定になります。

## 2つの音色の分け目を変えるには

- 1 **SPLIT** ボタンを押しながら、高音部の最低音(左端)にしたい鍵盤を押します。

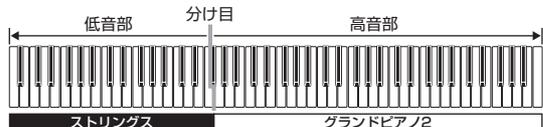


### NOTE

- スプリットポイントは自動伴奏の伴奏鍵盤(12、13ページ)とメロディー鍵盤の境目もかかっています。スプリットポイントを変更すると、伴奏鍵盤の範囲もそれに連れて変化します。

## 2つの音色を左右に分けてみる(スプリット)

本機では、鍵盤を高音部、低音部に分けて、それぞれ別々の音色で演奏できます。



- 1 高音部に選びたい音色の **TONE** ボタンを押します。  
例: GRAND PIANO 2
- 2 **SPLIT** ボタンを押します。  
• スプリットランプが点灯します。
- 3 低音部に選びたい音色の **TONE** ボタンを押します。  
例: STRINGS
- 4 もとの1音色の状態に戻すには、**SPLIT** ボタンを押します。  
• スプリットランプが消灯します。

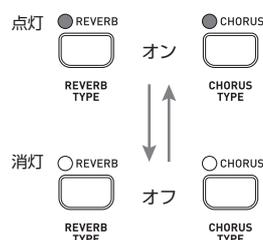
## 音色に効果をかけてみる(エフェクト)

リバーブ…残響の効果  
コーラス…音が広がるような効果

## 効果のオン・オフを切り替えるには

- 1 **REVERB** または **CHORUS** ボタンを押すごとに、下図のように設定が切り替わります。

- エフェクトの設定状況は、リバーブ/コーラスランプで確認できます。

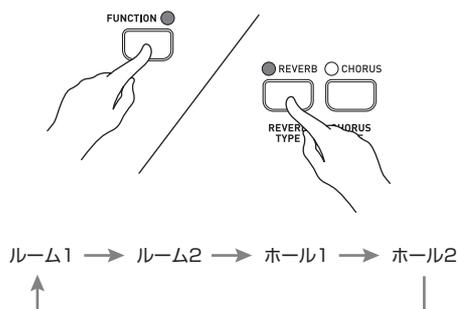


## 効果のタイプを変えるには

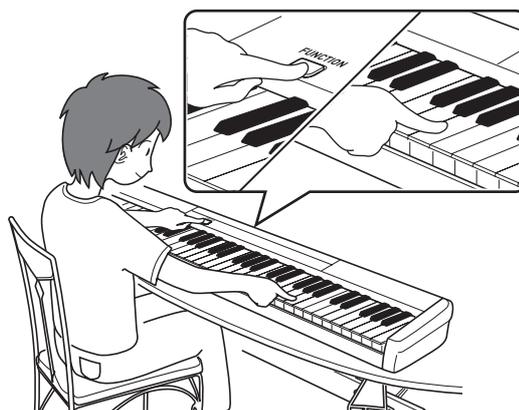
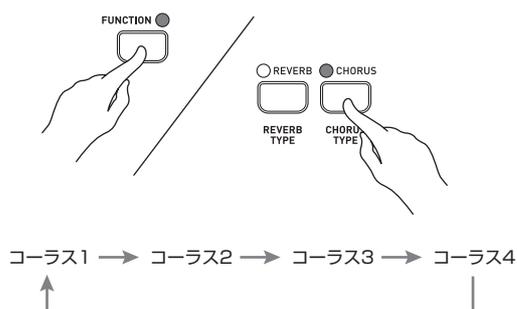
リバーブ、コーラスには各4タイプあります。

- 1 変更したいエフェクトをオンにします。
- 2 **FUNCTION** ボタンを押したまま、**REVERB** または **CHORUS** ボタンを押すごとに、下図のようにタイプの設定が切り替わります。

【リバーブ】



【コーラス】



### NOTE

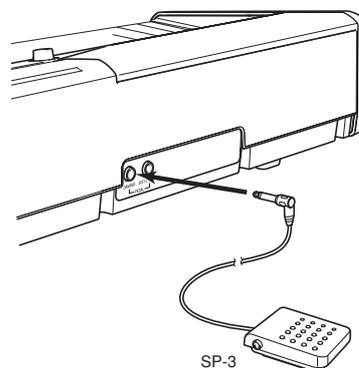
- 初期の設定では、メイン音色がDSPオン、レイヤー音色やスプリット音色ではオフになっています。DSPは、以下のように、いずれか一つのパートにのみかけられます。

	メイン音色	レイヤー音色	スプリット音色
初期値	オン	オフ	オフ
レイヤー音色のDSPをオン	オフ	オン	オフ
スプリット音色のDSPをオン	オフ	オフ	オン

- メイン音色、レイヤー音色、スプリット音色パートごとにコーラスのオン/オフの設定ができます。
- リバーブはメイン音色、レイヤー音色、スプリット音色パートごとのオン/オフの設定はできません。

## ペダルを使ってみる

本機には、ダンパーペダル用とソフト/ソステヌート用の2つのペダル端子があります。ペダルをソフト/ソステヌートペダル端子につないだ場合には、切り替え式でどちらか一方の効果を使用することができます。

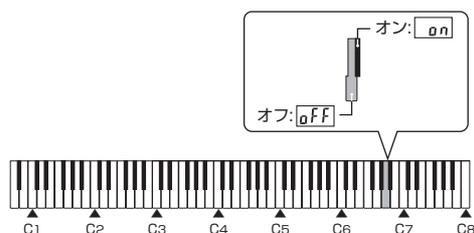


## DSP について

複合的な音響効果をデジタル処理で実現させる効果です。音色ごとにあらかじめかかっています。

DSP のオン・オフを切り替えるには

- 1 **FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の鍵盤を押します。



【各ペダルの働き】

• ダンパーペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、鍵盤で弾いた音の余韻が非常に長くなります。また、GRAND PIANO 1/2 音色を選んでいる場合は、実際のグランドピアノでダンパーペダルを使用している時のような共鳴効果も生み出せます。

• ソフトペダル

演奏中にこのペダルを踏むと、ペダルを踏んでから鍵盤で弾いた音が弱まるだけでなく、音色が柔らかく聞こえる効果が得られます。

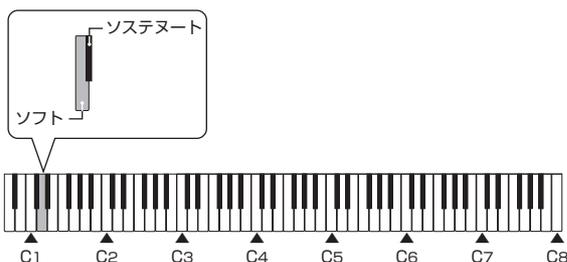
• ソステヌートペダル

このペダルを踏んだ時点で押さえている鍵盤の音だけ、ペダルを離すまで余韻が長くなる効果が得られます。

ソフト/ソステヌートペダルを切り替えるには

電源を入れた後の状態では、**PEDAL** 端子の **SOFT/SOSTENUTO** につないだペダルは、ソフトペダルに設定されています。以下の手順で、ソステヌートペダルに切り替えられます。

- 1 FUNCTION** ボタンを押したまま、以下のいずれかの鍵盤を押します。

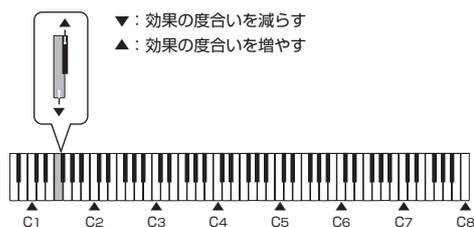


ダンパーペダルを途中まで踏んだときの効果を調節するには(別売のSP-30のご利用時のみ)

ダンパーペダルを途中まで踏み込んだときにかかるペダル効果の度合いを調節できます。

0(効果無し)~42(踏み切ったときと同じ)の間で調整できます。

- 1 FUNCTION** ボタンを押したまま、以下のいずれかの鍵盤を押します。



- **FUNCTION** ボタンを押したまま、上記2つの鍵盤を一緒に押すと、初期の設定になります。

メトロノームを鳴らしてみる

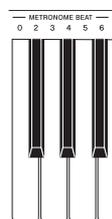
NOTE

- レイヤー/スプリット機能とメトロノーム機能と一緒に使う場合は、まず最初に、**RHYTHM** ボタンを押してリズムランプ(下側)を点灯させておきます。

- 1 METRONOME** ボタンを押します。

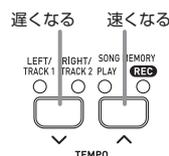
- メトロノームが鳴ります。

- 2 FUNCTION** ボタンを押したまま以下のいずれかの鍵盤を押して、拍子を設定します。



- 拍子は、2~6拍子の間で設定できます。「0」を設定すると、ベル音は鳴らずにクリック音のみが鳴ります。拍子にかかわらず練習するのに便利です。

- 3 FUNCTION** ボタンを押したまま、**TEMPO** ボタンでテンポを調節します。



- 鍵盤を使ってテンポを設定することもできます(11ページ参照)。

- 4** メトロノームを止めるには、**METRONOME** ボタンをもう一度押します。

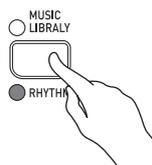
# リズムを鳴らしてみよう

## リズムを鳴らしてみる

本機には20種類のリズムが内蔵されています。0～9番のリズムは、打楽器音を鳴らし、それに合わせて弾くことができます。(10～19番は打楽器音がありません。これらのリズムの使い方は次ページを参照してください。)

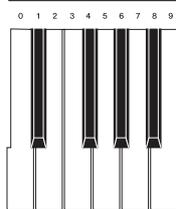
### 1 RHYTHM ボタンを押してリズムランプ(下側)を点灯させます。

- ボタンを押すごとにランプの点灯(上/下)が切り替わります。



### 2 鍵盤でリズム番号を指定して、リズムを選びます。

- FUNCTION ボタンを押したまま、下図の数値入力鍵盤を押します。
- 打楽器音を鳴らしたい場合は、0～9番のリズムの中から選びます。



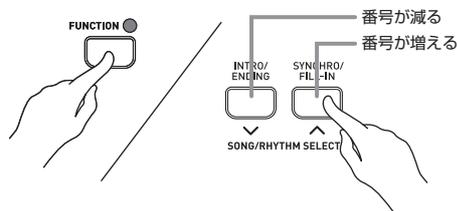
### 3 START/STOP ボタンを押します。

- 選んだリズムが鳴ります。

### 4 リズムを止めるには、もう一度 START/STOP ボタンを押します。

#### NOTE

- 手順2では、FUNCTION ボタンを押したまま、**SONG/RHYTHM SELECT** ボタンでリズムを選ぶこともできます。



- 2つの **SONG/RHYTHM SELECT** ボタンを一緒に押すと、0番のリズムが選ばれます。

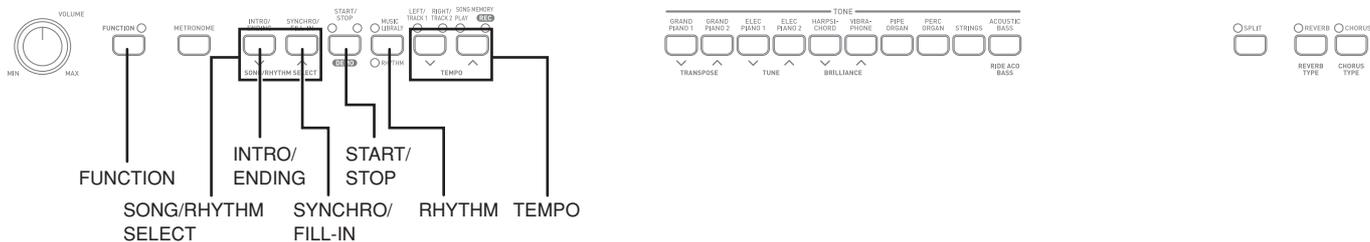
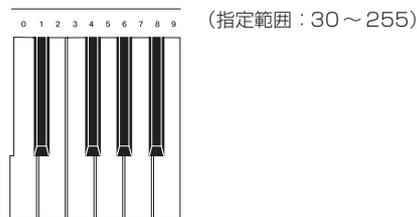
## テンポを調節するには

### 1 FUNCTION ボタンを押したまま、TEMPO ボタンを押して調節します。

- 2つの **TEMPO** ボタンを一緒に押すと、選ばれているリズムのお勧めのテンポになります。

#### NOTE

- 鍵盤を使ってテンポを設定することもできます。**FUNCTION** ボタンを押したまま…  
(1) **TEMPO** ボタンを押し、  
(2) 下図の数値入力鍵盤を押します。



## 自動伴奏を使ってみる

コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。1人でアンサンブル演奏のような楽しさが実現します。



### NOTE

- 10～19番のリズムは、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていないため、コードを指定した状態でないと、発音しません。これらのリズムは、カシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれかのモードを選んだ後、コードを指定してご利用ください。

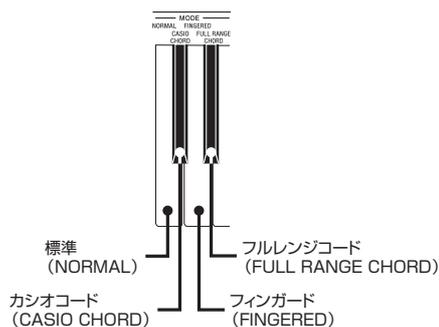
## 自動伴奏を使って演奏してみる

### 準備

- リズムを選び、テンポを調節しておきます。

### 1 コードの指定方法を3種類のモード(MODE)の中から選びます。

- FUNCTION** ボタンを押したまま、下図のいずれかの鍵盤を押します。



- ここでは、指一本で指定できるカシオコード(CASIO CHORD)を使ってみましょう。
- コードの指定方法とモードについて詳しくは、次項をお読みください。

### 2 SYNCHRO/FILL-INボタンを押します。

- 伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を鳴らす状態になります。

### 3 INTRO/ENDING ボタンを押します。



### 4 伴奏鍵盤で曲の最初のコードを指定します。

- 選んだリズムに応じたイントロが鳴り、リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

### 5 曲のコードを次々と指定します。

- 下記の「コードの指定方法について」をお読みください。
- 曲の雰囲気の変り目で **SYNCHRO/FILL-IN** ボタンを押すと、リズムが一時的に変化します。

### 6 演奏を終わらせるには、INTRO/ENDING ボタンを押します。

- 選んだリズムに応じたエンディングが鳴り、リズムとコード伴奏が止まります。

### NOTE

- 手順3や6の代わりに **START/STOP** ボタンを押すと、イントロやエンディングなしで伴奏を開始/終了できます。
- 伴奏の音量を調節できます。詳しくは19ページの「伴奏や内蔵曲の音量を調節するには」を参照してください。

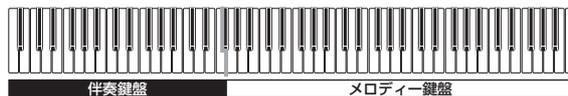
## コードの指定方法について

コードの指定方法によって、モードを選びます。自動伴奏を使わない場合は、「標準」に設定します。

### ■カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により4種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

### 【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



### 重要

- カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。
- スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を変えることができます。操作については、8ページの「2つの音色の分け目を変えるには」を参照してください。

コードの種類	例
<b>メジャーコード</b> コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	C 音名→ (Cメジャー)
<b>マイナーコード</b> メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm (Cマイナー)
<b>セブンスコード</b> メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7 (Cセブンス)
<b>マイナーセブンスコード</b> メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7 (Cマイナーセブンス)

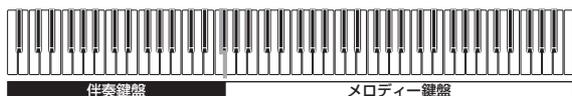
**NOTE**

- 2つ目以降の伴奏鍵盤は、1つめより右側なら白鍵/黒鍵を問わずどれでも使用できます。

**■フィンガードについて**

伴奏鍵盤の範囲内で、コードの構成音を押さえることにより、コードを指定する方法です。例えば、ド・ミ・ソと押さえると、Cのコードが指定されます。

**【フィンガードの伴奏/メロディー鍵盤】**



**重要**

- フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ働き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。
- スプリットポイントを変更して伴奏鍵盤の範囲を変えることができます。操作については、8ページの「2つの音色の分け目を変えるには」を参照してください。

<b>C(メジャー)</b>  ド ミ ソ	<b>Cm(マイナー)</b>  ド ミ <sup>b</sup> ソ	<b>C dim(ディミニッシュ)</b>  ド ミ <sup>b</sup> ファ <sup>#</sup>
<b>C aug(オーギュメント) ※1</b>  ド ミ ラ <sup>b</sup>	<b>C sus4(サスフォー)</b>  ド ファソ	<b>C 7(セブンス) ※2</b>  ド ミ ソ シ <sup>b</sup>
<b>Cm 7(マイナーセブンス) ※2</b>  ド ミ <sup>b</sup> ソ シ <sup>b</sup>	<b>CM 7(メジャーセブンス) ※2</b>  ド ミ ソ シ	<b>Cm 7<sup>b</sup>5(マイナーセブンス)</b>  ド ミ <sup>b</sup> ファ <sup>#</sup> シ <sup>b</sup>
<b>C 7<sup>b</sup>5(セブンスフラットファイブ) ※1</b>  ド ミ ファ <sup>#</sup> シ <sup>b</sup>	<b>C 7sus4(セブンスサスフォー)</b>  ド ファソ シ <sup>b</sup>	<b>C add9(アドナインズ)</b>  ドレミ ソ
<b>Cm add9(マイナーアドナインズ)</b>  ドレミ <sup>b</sup> ソ	<b>CmM 7(マイナーメジャーセブンス) ※2</b>  ド ミ <sup>b</sup> ソ シ	<b>C dim7(ディミニッシュセブンス) ※1</b>  ド ミ <sup>b</sup> ファ <sup>#</sup> ラ

**NOTE**

- 根音が「C」以外の場合は、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります(26ページ「フィンガードコード一覧表」参照)。

- ※1：転回形(下のNOTEを参照)は使えません。最低音が根音となります。
- ※2：5度のソの音を押さえなくても、同じコードが指定できます。

**NOTE**

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方(例えばCを「ドミソ」と押さえる)だけでなく、転回形(コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる)も有効です。  
 …※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。  
 …※2のコードを除く。

## ■フルレンジコードについて

この方法で指定できるコードは、フィンガードの15種類に23種類を加えた計38種類です。この場合、本機が判別できるコードの指定方法で鍵盤を3つ以上押したときに限り、コードが指定されます。それ以外（本機が判別できないコードや2つ以下の鍵盤を押している場合）ではメロディー鍵盤と同様に発音しますので、すべての鍵盤でコードの指定とメロディー演奏が行えます。

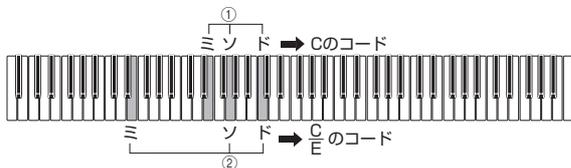
### 【フルレンジコードの伴奏／メロディー鍵盤】



### ●本機で判別できるコード

分類	コードの種類
フィンガードの対象コード	15種類(13ページ「フィンガードについて」参照)
それ以外のコード	23種類 以下は、“C”をベース音とした場合の例です。 C <sub>6</sub> 、Cm <sub>6</sub> 、C <sub>6</sub> 9、 $\frac{D^{\flat}}{C}$ 、 $\frac{D}{C}$ 、 $\frac{E}{C}$ 、 $\frac{F}{C}$ 、 $\frac{G}{C}$ 、 $\frac{A^{\flat}}{C}$ 、 $\frac{B^{\flat}}{C}$ 、 $\frac{B}{C}$ 、 $\frac{D^{\flat}m}{C}$ 、 $\frac{Dm}{C}$ 、 $\frac{Fm}{C}$ 、 $\frac{Gm}{C}$ 、 $\frac{Am}{C}$ 、 $\frac{B^{\flat}m}{C}$ 、 $\frac{Ddim}{C}$ 、 $\frac{A^{\flat}7}{C}$ 、 $\frac{F7}{C}$ 、 $\frac{Fm7}{C}$ 、 $\frac{Gm7}{C}$ 、 $\frac{A^{\flat}add9}{C}$

(例) Cメジャーまたは  $\frac{C}{E}$  コードの場合



#### NOTE

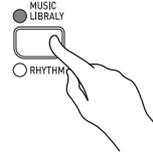
- 最低音と右隣の音との間に、半音が6つ以上はさまる場合には、最低音をベース音として判別します。

# 内蔵曲を練習してみよう (ミュージックライブラリー)

## 曲を鳴らしてみる

本機には、60曲が内蔵されています。24ページの「ソングリスト」を参照してください。

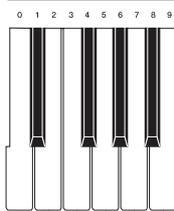
- MUSIC LIBRARY** ボタンを押してミュージックライブラリーランプ(上側)を点灯させます。



- ボタンを押すごとにランプの点灯(上/下)が切り替わります。

- 鍵盤を使って曲番号を入力して、曲を選びます。

- FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の数値入力鍵盤を押します。



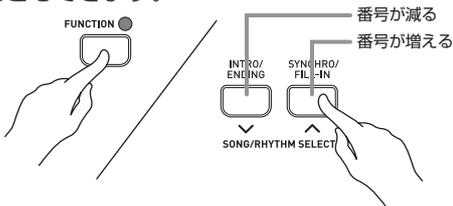
- START/STOP** ボタンを押します。

- 選んだ曲が鳴ります。

- 曲を止めるには、もう一度 **START/STOP** ボタンを押します。

### NOTE

- 手順2で **FUNCTION** ボタンを押したまま、**SONG/RHYTHM SELECT** ボタンで曲を選ぶこともできます。

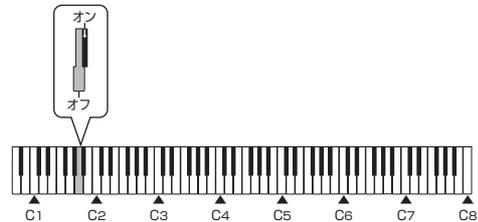


- 2つの **SONG/RHYTHM SELECT** ボタンを一緒に押し、0番の曲が選ばれます。
- 内蔵曲の演奏中は、レイヤー/スプリット機能は使えません。

## 曲頭のカウント音をオン/オフするには

曲の頭でカウントを「鳴らす/鳴らさない」を以下の操作で選ぶことができます。

- FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の鍵盤を押します。



## 練習してみる

内蔵曲の右手パートまたは左手パートの音を消して、自分で弾く練習ができます。

### 準備

- 曲を選び、テンポを設定しておきます。(11ページ「テンポを調節するには」参照)。
- その曲のおすすめのテンポより速いテンポで曲を鳴らす場合は、おすすめテンポの約2倍の速さまでしか設定できません。
- 曲を演奏しているときは、曲調に変化をつけるためにテンポが変化します。

- LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタンを押して、音を消したいパートを選びます。

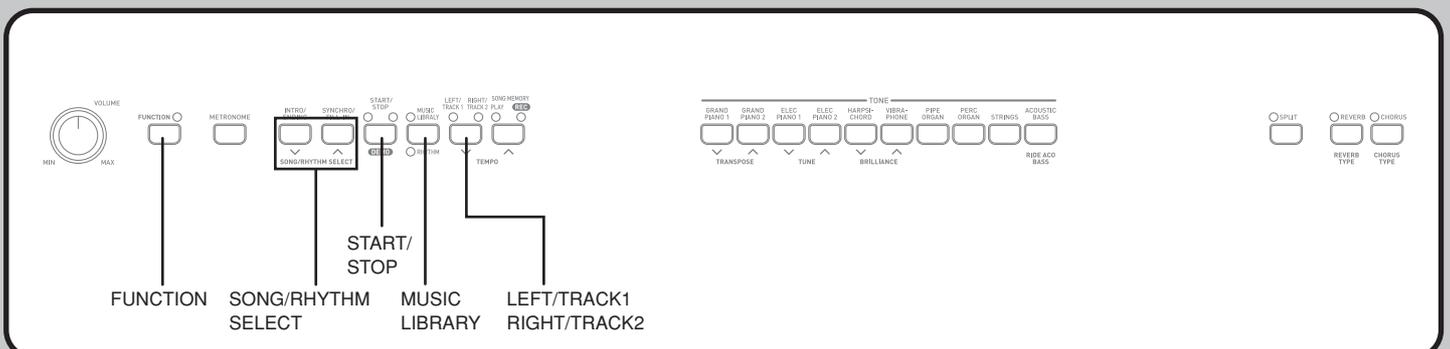
- ボタンを押すごとにボタン上の2つのランプがそれぞれ点灯/消灯します。消したいパートのランプを消灯させます。

- START/STOP** ボタンを押します。

- 演奏が始まります。操作1で選んだパートは鳴りません。

- 音を消したパートを自分で弾きます。

- 曲を止めるには、もう一度 **START/STOP** ボタンを押します。



# 演奏を録音／再生してみましょう (ソングメモリー)

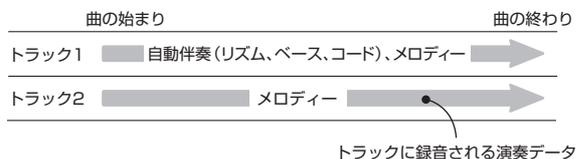
本機で演奏した内容を録音して、再生できます。

## NOTE

- レイヤー／スプリット機能は、ソングメモリー機能の録音中は使えません。
- ソングメモリー機能を使用しているときは、メトロノームの拍子が自動的に0拍子になります。拍子の変更はできません。

## トラックについて

本機では1曲に対して異なる演奏内容を2つまで重ねて録音できます。2つの異なる演奏内容や音色番号は、メモリー内の個別の位置(これをトラックと呼びます)にデータとして記録されます。



## 録音できる容量

- トラック1と2合わせて、約10,000音符まで録音できます。
- 演奏の途中で録音できる容量をこえると、RECランプが消灯して自動的に録音が止まります。

## 録音される内容

鍵盤演奏、演奏に使った音色、テンポ設定(トラック1のみ)、ペダル操作、リバーブ／コーラス設定、DSPのオン／オフ設定、ブリリアンス設定、伴奏の音量設定、リズム(トラック1のみ)、コード指定(トラック1のみ)、イントロ／フィルイン／エンディング操作(トラック1のみ)

## 録音内容の保持

本機は、録音した内容を電源を切った後にも保持するため\*に、本体内にリチウム電池を内蔵しています。このリチウム電池が消耗すると、本体の電源を切ると同時に、録音内容は消去されてしまいます。内蔵のリチウム電池の寿命は、本機の製造より約5年です。お買い上げより相当の年数がたちましたら、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご連絡ください。有償にて電池交換を行います。

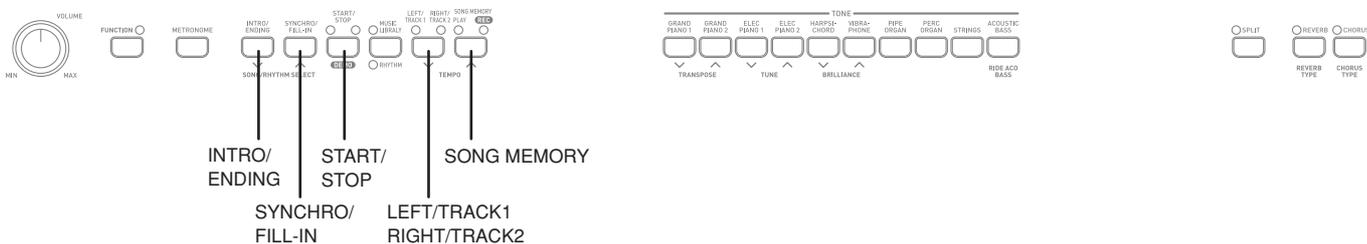
\*録音の途中では、電源を絶対に切らないでください(下記 **重要** 参照)。

## 重要

- どちらかのトラックが録音済みの場合で、そのトラックだけで録音できる容量一杯まで録音されている場合は、もう一方のトラック(データがないトラック)は、録音できません。
- 本機に録音を行う場合、以前に録音してあった内容は消去されます。
- 録音中に電源が切れると、録音してあった内容はすべて消去されます。
- 本機の故障、修理や電池交換などによる録音内容の消去により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

## SONG MEMORY ボタンの使い方

SONG MEMORY ボタンを、1回押すごとに以下のように状態が切り替わります。



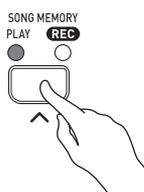
## 演奏を録音してみる

鍵盤演奏をそのまま録音する方法と、録音済みのトラックの再生に合わせてもう一方のトラックに録音する方法があります。

### 鍵盤演奏をそのまま録音するには

トラック1に録音後、トラック2に別の曲を録音するときは、操作1、2のNOTEを参照してください。

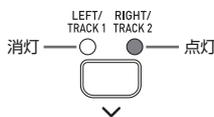
- 1 SONG MEMORY** ボタンを押して、PLAYランプを点灯させます。



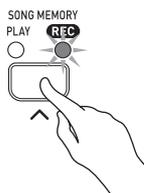
- 録音に使う音色や効果を選び、テンポと拍子を設定しておきます。

#### NOTE

- トラック1に録音済みで、トラック2に別の曲を録音する時は、**LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタンを押して左手／トラック1ランプを消灯させます。



- 2 SONG MEMORY** ボタンを押して、RECランプを点滅させます。



- 左手／トラック1ランプが点滅し、トラック1へ録音待ちの状態になります。

#### NOTE

- トラック2へ録音したい場合：ここで、**LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタンを押します。右手／トラック2ランプを点滅させて、トラック2へ録音待ちの状態にします。

- 録音中にメトロノームを鳴らしたい場合は、メトロノームをオンしておきます。
- リズムや自動伴奏をつけて録音したい場合は、リズムやモードも選んでおきます（トラック1のみ録音できます）。

- 3** 演奏を開始します。

- 自動的に録音がはじまります。

#### NOTE

- リズム／自動伴奏を鳴らしてトラック1へ録音する場合：**START/STOP** ボタンを押して録音を開始します。**SYNCHRO/FILL-IN** ボタン、**INTRO/ENDING** ボタンを押してから、コードを押さえて録音を開始することもできます。
- リズム／自動伴奏無しでトラック1へ録音する場合：鍵盤を弾くと同時に録音が始まります。
- トラック2へ録音する場合：鍵盤を弾くか、**START/STOP** ボタンを押して、録音を開始します。

- 4** 録音を止めるには、**START/STOP** ボタンを押します。

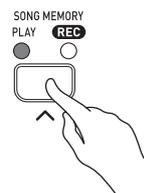
- リズム／自動伴奏を鳴らしてエンディングをつけた場合は、**INTRO/ENDING** ボタンを押します。
- RECランプが消灯し、録音したトラックボタンのランプが点灯します。
- 録音した内容をすぐに再生したい場合は、もう一度**START/STOP** ボタンを押します。

- 5** 録音や再生が終わったら、**SONG MEMORY** ボタンを押して、PLAYランプとRECランプを消灯させておきます。

### 録音済みのトラックを再生しながらもう一方に録音するには

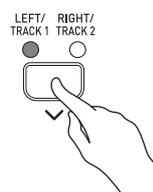
例えば、録音済みのトラック1の再生に合わせて、トラック2に録音したい場合は、以下の手順になります。

- 1 SONG MEMORY** ボタンを押して、PLAYランプを点灯させます。



- 録音に使う音色や効果を選んでおきます。

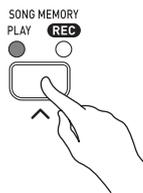
- 2 LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタンを押して、左手／トラック1ランプを点灯させておきます。



- 3 もう一度、**SONG MEMORY** ボタンを1回押します。
  - 左手／トラック1ランプが点滅します。**LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタンを押して、右手／トラックランプを点滅させます。トラック2へ録音待ちの状態になります。
- 4 **START/STOP** ボタンか鍵盤を押して、演奏を開始します。
  - トラック1の再生と、トラック2への録音が同時に始まります。
- 5 録音を止めるには、**START/STOP** ボタンを押します。

## 録音した演奏を再生してみる

- 1 **SONG MEMORY** ボタンを押して、PLAY ランプを点灯させます。



- 2 **LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタンを押して、再生したいトラックを選びます。

- ボタンを押すごとにボタン上の2つのランプがそれぞれ点灯します。選びたいトラックのランプを点灯させます。
- トラック1 : 左手／トラック1ランプが点灯
- トラック2 : 右手／トラック2ランプが点灯
- 両トラック : 上記両方のランプが点灯

- 3 **START/STOP** ボタンを押します。

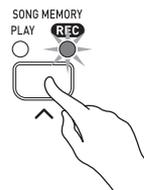
- 録音した内容が再生されます。
- 再生時は、テンポを変えることができます。
- 再生中に **METRANOME** ボタンを押して、メトロノームの音を消したり鳴らしたりできます。
- 再生の音色を変えることはできません。
- 途中で止める時には、もう一度 **START/STOP** ボタンを押します。

## 録音した内容を消去するには

### 重要

- 以下の操作を完了すると同時に、録音した内容はすべて消去され、元に戻すことはできません。消去しようとしている内容を一度再生して、消去してもよいことをご確認の上、以下の操作を行うことをお勧めします。

- 1 **SONG MEMORY** ボタンを押して、REC ランプを点滅させます。

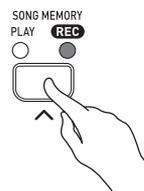


- 2 **LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタンを押して、消去したいトラックを選びます。

- 選んだトラックのランプが点滅します。

- 3 **SONG MEMORY** ボタンを長押しします。

- REC ランプが点滅から点灯状態に変わります。



- 4 **LEFT/TRACK 1 RIGHT/TRACK 2** ボタンを押します。

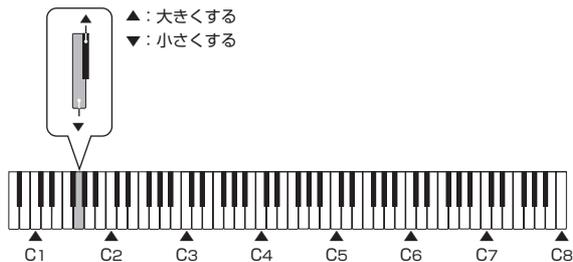
- 選んだトラックの録音内容が消去され、再生待ちの状態になります。

# その他の設定

## 伴奏や内蔵曲の音量を調節するには

リズムとコード伴奏の音量や内蔵曲の音量を全体の音量とは別に調節できます。

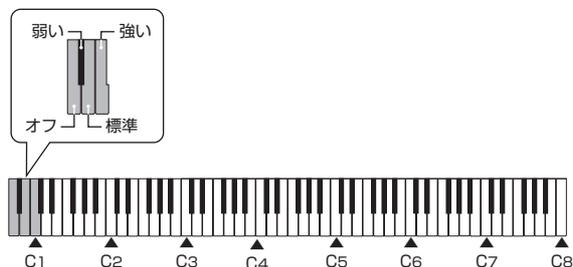
**1 FUNCTION** ボタンを押したまま、下図の鍵盤を押します。



## 鍵盤のタッチを変更してみる

鍵盤を弾くときの強弱感度を変更できます。

**1 FUNCTION** ボタンを押したまま、以下の鍵盤を押します。



オフ

弱い (弱めに弾いても大きな音、強い音が出る)

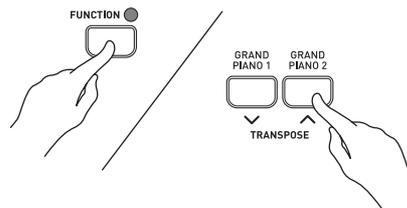
標準

強い (強めに弾いて、標準の音が出る)

## 鍵盤の調を変更してみる (トランスポーズ)

鍵盤全体の調を半音単位で上下させることができます。

**1 FUNCTION** ボタンを押しながら、**TRANSPOSE** ボタンの[✓]または[^]を押して調を変更します。

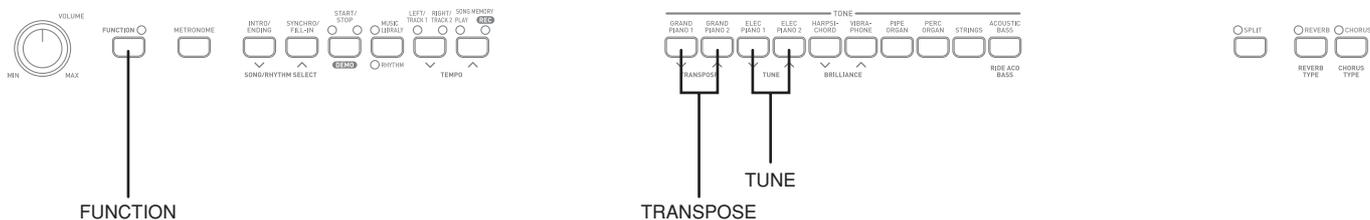


[^]: 調を上げる

[✓]: 調を下げる

### NOTE

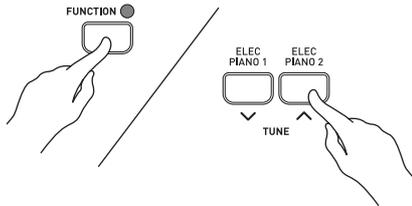
- **FUNCTION** ボタンを押しながら、**TRANSPOSE** ボタンの[✓]と[^]を同時に押すと、Cになります。
- トランスポーズ機能を使って鍵盤の音を高くしている場合、音色によっては最高鍵域で音の高さが不明瞭になる場合があります。



## 他の楽器と音程を合わせてみる (チューニング)

本機全体のピッチを A4=440.0Hz から上下 50 セント (100 セント = 半音) の範囲で調節できます。

- 1 FUNCTION** ボタンを押しながら、**TUNE** ボタンの [∨] または [∧] を押し、ピッチを調節します。



[∧]: ピッチを上げる  
[∨]: ピッチを下げる

※ ボタンを押すごとに、約 1 セント = 1/100 半音ずつ調節します。

### NOTE

- **FUNCTION** ボタンを押しながら **TUNE** ボタンの [∨] と [∧] を同時に押すと、ピッチは A4 = 440.0Hz になります。

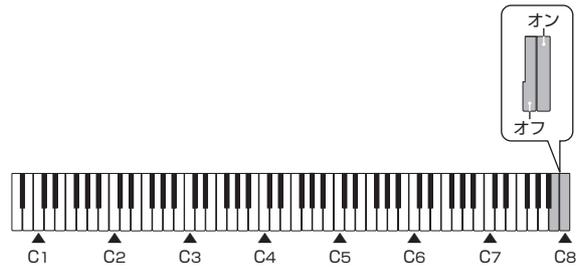
## 本機で設定した内容を 保つには

以下の設定をオンにすれば、本機の電源を切った後も設定した内容\*を保つことができます。設定をオフにすると、電源を切った後は設定した内容は消去されます。

※

- **ミュージックライブラリーモードで電源を切った場合**  
次に電源を入れたとき、以下の設定が呼び出されます。  
曲の選択、鍵盤タッチ、ペダルの選択、ダンパーペダルの調整、メトロノームの拍子、レイヤー音色の音量バランス、スプリットポイント、送信チャンネル
- **リズムモードで電源を切った場合**  
次に電源を入れてリズムモードにしたとき、ローカルコントロール(次項参照)以外の設定が呼び出されます。

- 1 FUNCTION** ボタンを押したまま、以下のいずれかの鍵盤を押します。



## MIDI 機能を使ってみる

### MIDI について

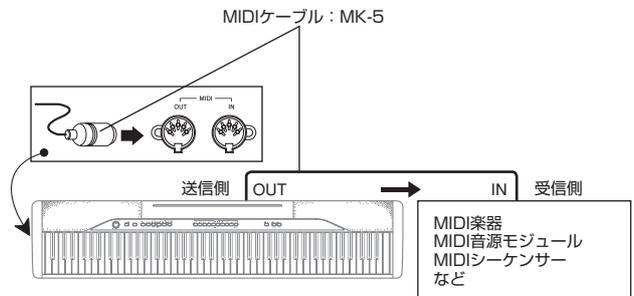
電子楽器同士、あるいは電子楽器とコンピューター機器との間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。

### NOTE

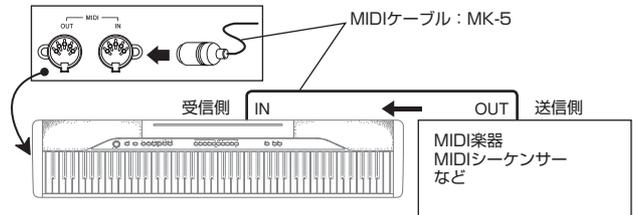
- MIDI インプリメンテーションの詳細は <http://www.casio.co.jp/emi/> を参照してください。

### MIDI の接続について

送信



受信



## 各設定をするには

### ① 送信チャンネルの設定

本機のMIDIメッセージを外部の機器へ送信するチャンネルを1～16のMIDIチャンネルの中から1つ設定します。

### ② アカンプ/ソング MIDI アウトの設定

本機の自動伴奏による演奏やソングメモリーの再生をMIDIメッセージとして送信するか、しないかを設定します。

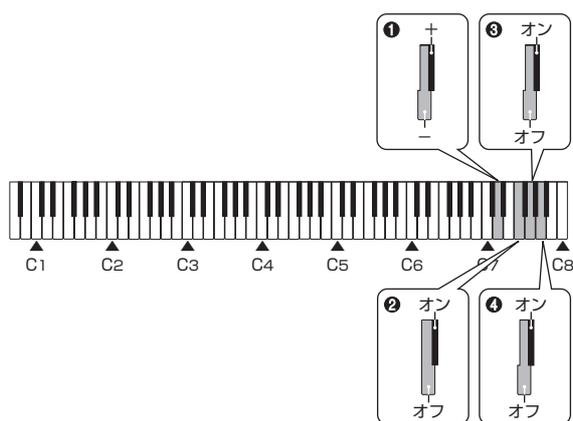
### ③ MIDI インコードジャッジの設定

外部の機器から伴奏鍵盤域のMIDIノートオンメッセージを受信したとき、自動伴奏のコード判定を行うか、行わないかを設定します。

### ④ ローカルコントロールの設定

本機の内部で、鍵盤部分と音源部分を電氣的に切り離すか、離さないかの設定です。オフにすると、鍵盤と音源が切り離され、鍵盤を弾いても音が鳴らなくなります。外部のシーケンサーなどを使って本機の自動演奏を行う場合に、本体の鍵盤に触れても音を出さないようにできます。

**1 FUNCTION** ボタンを押しながら、以下の鍵盤を押して設定します。



### ① 送信チャンネルの設定

- : 数値が減る
- + : 数値が増える

### ② アカンプ/ソング MIDI アウトの設定

- オフ
- オン

### ③ MIDI インコードジャッジの設定

- オフ
- オン

### ④ ローカルコントロールの設定

- オフ
- オン

## 困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>VOLUMEつまみが“MIN”の位置にある。</li> <li>ヘッドホンがつながっている。</li> <li>ローカルコントロールの設定がオフになっている。</li> <li>モードの設定が、“カシオコード”や“フィンガード”になっているときは、伴奏鍵盤で通常の鍵盤演奏ができません。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>VOLUMEつまみを“MAX”の方に動かす。</li> <li>ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。</li> <li>ローカルコントロールの設定をオンにする。</li> <li>モードを“標準”に設定する。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7ページ</li> <li>6ページ</li> <li>21ページ</li> <li>12ページ</li> </ul>
ピッチがずれて聞こえる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>調の設定が“C”以外になっている。</li> <li>音程が正しく設定されていない。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>調の設定を“C”にする。または、電源を入れ直す。</li> <li>音程を正しく設定する。または、電源を入れ直す。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>19ページ</li> <li>20ページ</li> </ul>
デモ演奏を始めたが音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>VOLUMEつまみが“MIN”の位置にある。</li> <li>ヘッドホンがつながっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>VOLUMEつまみを“MAX”の方に動かす。</li> <li>ヘッドホンをヘッドホン端子から抜く。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7ページ</li> <li>6ページ</li> </ul>
メモリーの内容が消えてしまう。	リチウム電池が消耗している。	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して、リチウム電池を入れ替える。	27ページ
鍵盤を押しても、外部のMIDI音源の音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>本機の送信チャンネルと外部のMIDI音源のチャンネルが一致していない。</li> <li>外部音源のボリュームやエクスプレッションの設定が“0”になっている。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>本機と外部のMIDI音源の送信チャンネルを一致させる。</li> <li>外部音源のボリュームやエクスプレッションの設定を適切な値にする。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20ページ</li> <li>外部音源の取扱説明書</li> </ul>
同じ音色で鍵盤の位置によって音質や音量が若干異なる音色がある。	<p>デジタルサンプリングという電子処理*によって発生する音域の境目で、故障ではありません。</p> <p>*元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げる処理。</p>		

## 製品仕様

型式	PX-110
鍵盤	88 鍵、ピアノ鍵盤、タッチレスポンス付き
同時発音数	最大 32 音
音色	11 種類 (レイヤー、スプリット可)
エフェクト	リバーブ (4 種)、コーラス (4 種)、DSP、プリリアンス
メトロノーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>拍子：0,2,3,4,5,6</li> <li>テンポ範囲：30～255</li> </ul>
自動伴奏	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズム数：20</li> <li>テンポ範囲：30～255</li> <li>コントローラー：スタート/ストップ、イントロ/エンディング、シンクロ/フィルイン</li> <li>モード：標準、カシオコード、フィンガード、フルレンジコード</li> <li>伴奏の音量：調節可</li> </ul>
ミュージックライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲数：60</li> <li>曲の音量：調節可</li> <li>デモ：全曲 (60 内蔵曲) リピート再生</li> <li>パートのオン/オフ：左手、右手</li> </ul>
ソングメモリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>方式：リアルタイム録音、再生</li> <li>容量：約 10,000 音符 (2トラック合計)</li> <li>録音内容の保持：内蔵リチウム電池による (電池寿命約 5 年)</li> </ul>
ペダル	ダンパー、ソフト/ソステヌート (切り替え可)
その他の機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>タッチセレクト：3 種類、オフ</li> <li>トランスポーズ：1 オクターブ (F#～C～F)</li> <li>チューニング：A4 = 440.0Hz ± 50 セント (可変)</li> </ul>
MIDI	16ch マルチティンバー受信
入出力端子	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘッドホン端子：ステレオミニジャック×2 出カインピーダンス 170 Ω 出力電圧 5.5V (RMS) MAX</li> <li>ペダル端子：標準ジャック×2</li> <li>電源端子：DC12V</li> <li>MIDI [OUT] [IN] 端子</li> <li>ペダルコネクタ (別売品 SP-30 専用)</li> </ul>
スピーカー	(12cm × 6cm 楕円型) × 2 (出力 8.0W + 8.0W)
電源	家庭用 100V 電源使用 AC アダプター AD-12JL 使用
消費電力	12V ≒ 18W
サイズ	幅 132.3 × 奥行 27.8 × 高さ 13.2cm
重量	約 11.9kg
付属品	ACアダプター(AD-12JL)、ペダル(SP-3) 1本、譜面立て、取扱説明書(本書)、保証書、楽譜集

- 改良のため、仕様およびデザインの一部を、予告なく変更することがあります。

## 【別売品のご案内】

商品名	品番
ヘッドホン	CP-16
ペダル	SP-3 SP-20 SP-30
イス	CB-5 CB-7 CB-9BN CB-20LB

商品名	品番
スタンド	CS-53P CS-65P
MIDI ケーブル	MK-5
MIDI インターフェイス	UI-7A
ソフトケース	SC-700P

- 別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店 (全国の有名楽器店、デパートなど) で、お求めになれます。

## トーンリスト

音色名	最大同時 発音数	プログラム チェンジ	バンクセレクト MSB
GRAND PIANO 1	16	0	100
GRAND PIANO 2	32	1	100
ELEC PIANO 1	32	4	48
ELEC PIANO 2	16	5	48
HARPSICHORD	32	6	48
VIBRAPHONE	32	11	48
PIPE ORGAN	32	19	48
PERC ORGAN	16	17	48
STRINGS	32	49	48
ACOUSTIC BASS	32	32	48
RIDE ACO BASS	16	32	49

## リズムリスト

NO.	リズム名
00	PIANO BALLAD 1
01	PIANO BALLAD 2
02	PIANO BALLAD 3
03	EP BALLAD 1
04	EP BALLAD 2
05	BLUES BALLAD
06	MELLOW JAZZ
07	JAZZ COMBO
08	RAGTIME
09	BOOGIE-WOOGIE
10	ARPEGGIO 1
11	ARPEGGIO 2
12	ARPEGGIO 3
13	PIANO BALLAD 4
14	6/8 MARCH
15	MARCH
16	2 BEAT
17	WALTZ 1
18	WALTZ 2
19	WALTZ 3

## NOTE

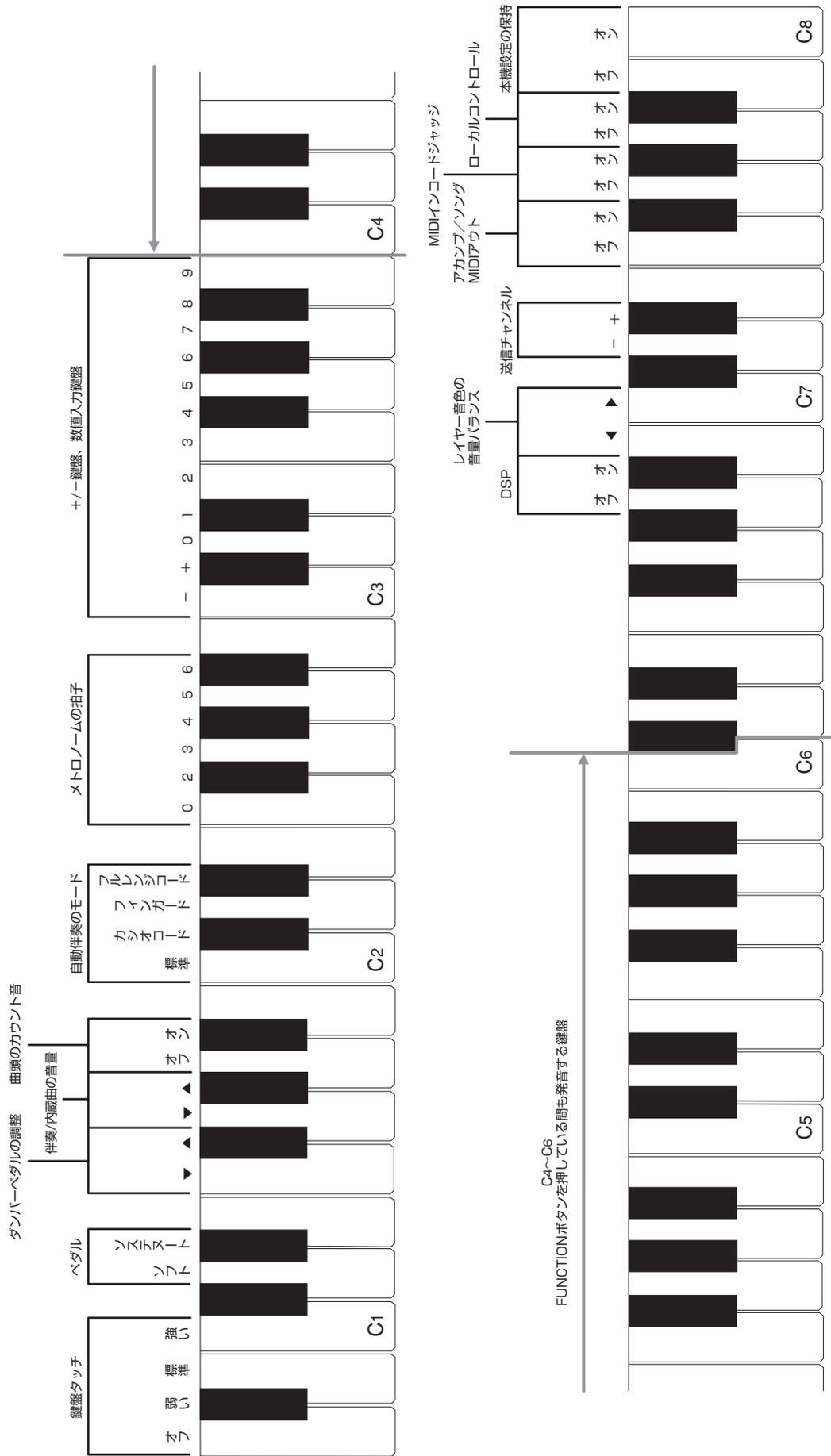
- 10～19番のリズムは、コード伴奏だけで構成されていてドラムなどのリズム音色が入っていません。これらのリズムは、コードを指定した状態でないと、発音しません。モードをカシオコード、フィンガード、フルレンジコードのいずれか設定した状態で、コードを指定してご使用ください。

## ソングリスト

NO.	曲名
00	ノクターン 作品9の2
01	幻想即興曲 作品66
02	エチュード 作品10の3 <別れの曲>
03	エチュード 作品25の9 <蝶々>
04	プレリュード 作品28の7
05	ワルツ 作品64の1 <小犬のワルツ>
06	アヴェ・マリア
07	楽興の時 作品94の3
08	楽しき農夫
09	異国から「子供の情景」より
10	トロイメライ「子供の情景」より
11	カノン 二長調
12	タンブラン
13	メヌエット「アンナ・マグダレーナのためのクラヴィア小曲集」より
14	インヴェンション 第1番
15	インヴェンション 第13番
16	プレリュード 第1番「平均律クラヴィア曲集 第1巻」より
17	主よ、人の望みの喜びよ
18	ガボット
19	ソナチネ 作品36の1 第1楽章
20	セレナード「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より
21	ソナタ K. 545 第1楽章
22	ソナタ K. 331 第3楽章 <トルコ行進曲>
23	喜びの歌
24	エリーゼのために
25	ソナタ 作品13 <悲愴> 第2楽章
26	ソナタ 作品27の2 <月光> 第1楽章
27	ワルツ 作品39の15 (連弾)
28	愛の夢 第3番
29	乙女の祈り
30	プロムナード「展覧会の絵」より
31	クシコス・ポスト
32	シシリエンヌ 作品78
33	アラベスク 第1番
34	垂麻色の髪の乙女
35	パスピエ「ベルガマスク組曲」より
36	ジムノパディ 第1曲
37	愛の挨拶
38	エンターティナー
39	メーブル・リーフ・ラグ
40	チョップスティックス
41	大きな古時計
42	アメイジング・グレイス
43	虹の彼方に
44	いつか王子様が
ブルグミュラー 25の練習曲より	
45	素直な心
46	アラベスク
47	進歩
48	狩猟
49	スティリアの女
50	バラード
51	アヴェ・マリア
52	タランテラ
53	帰途
54	貴婦人の乗馬
ツェルニー 30番練習曲より	
55	第1番
56	第2番
57	第13番
58	第26番
59	第30番

# 設定に使用する鍵盤一覧

本機では、**FUNCTION** ボタンを押したまま特定の鍵盤を押して設定する操作があります。  
 ※ C4などの数字は鍵盤の位置を示しています。



# フィンガードコード一覧表

コードの種類 (ルート)	aug (オーギュメント)	sus4 (サスフォー)	7sus4 (セブンスサスフォー)	m add9 (マイナーアッドナイン)	mM7 (マイナーセブナー)	7 <sup>b</sup> 5 (セブンスフラットファイブ)	add9 (アッドナイン)
C							
C <sup>♯</sup> (D <sup>♭</sup> )							
D							
(D <sup>♯</sup> )/E <sup>♭</sup>							
E							
F							
F <sup>♯</sup> (G <sup>♭</sup> )							
G							
(G <sup>♯</sup> )/A <sup>♭</sup>							
A							
(A <sup>♯</sup> )/B <sup>♭</sup>							
B							

コードの種類 (ルート)	Mジャー m	7 (セブンス)	m7 (マイナーセブンス)	dim7 (ディミニッシュセブンス)	M7 (メジャーセブンス)	dim (ディミニッシュ)	m7 <sup>b</sup> 5 (マイナーセブンスフラットファイブ)
C							
C <sup>♯</sup> (D <sup>♭</sup> )							
D							
(D <sup>♯</sup> )/E <sup>♭</sup>							
E							
F							
F <sup>♯</sup> (G <sup>♭</sup> )							
G							
(G <sup>♯</sup> )/A <sup>♭</sup>							
A							
(A <sup>♯</sup> )/B <sup>♭</sup>							
B							

## ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

### ■ 設置上のご注意

本機を次のような場所に設置しないでください。

- 直射日光のあたる場所、温度の高い場所。
- 極端に温度の低い場所。
- ラジオや、テレビ、ビデオ、チューナーに近い場所（これらを近くに置いた場合、本機には特に障害はありませんが、近くに置いたラジオやテレビの側に雑音や映像の乱れが起こることがあります）。

### ■ 本機のお手入れについて

- お手入れにベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は使わないでください。
- 鍵盤などのお手入れは柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞ってお拭きください。

### ■ リチウム電池消費に関するご注意

本機は、メモリーに記録した内容を電源を切った後（メモリー停止中に電源を切った後）も保持するために、本体内にリチウム電池を内蔵しています。このリチウム電池が消耗すると、録音を行った後で本体の電源を切ると同時に録音内容は消去されてしまいます。内蔵のリチウム電池の寿命は、本機の製造より約5年です。お買い上げより相当の年数が経ちましたら、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご連絡ください。有償にて電池交換をいたします。

- 本機の故障、修理や電池交換などによるメモリーデータの消失により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなるご請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

### ■ 付属品・別売品

付属品や別売品は、本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

### ■ ウェルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウェルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

### ■ 音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のかからない音量でお楽しみください。窓を閉めたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。

本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

## 保証・アフターサービスについて

### 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間は保証書に記載されています

#### 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

#### ● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。

- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

#### ● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

当商品は「出張修理」「持込修理」のいずれも受け付けております。修理をお急ぎの場合には、事前に最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。お客様のご希望に沿った修理方法をご案内させていただきます。

### あらかじめご了承ください

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。

また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。

- 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。

- 録音機能などのデータ記憶機能付きのモデルでは、修理のとき、故障原因の解析のため、データを確認させていただくことがあります。

- 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

### アフターサービスなどについておわかりにならないときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。





This recycle mark indicates that the packaging conforms to the environmental protection legislation in Germany.

これは、梱包箱がドイツの環境保護法に適合していることを示すリサイクルマークです。

**CASIO®**

**カシオ計算機株式会社**

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

□ MA0603-C Printed in China  
PX110JA1C